

1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024
2025
2026
2027
2028
2029
2030
2031
2032
2033
2034
2035
2036
2037
2038
2039
2040
2041
2042
2043
2044
2045
2046
2047
2048
2049
2050
2051
2052
2053
2054
2055
2056
2057
2058
2059
2060
2061
2062
2063
2064
2065
2066
2067
2068
2069
2070
2071
2072
2073
2074
2075
2076
2077
2078
2079
2080
2081
2082
2083
2084
2085
2086
2087
2088
2089
2090
2091
2092
2093
2094
2095
2096
2097
2098
2099
2100
2101
2102
2103
2104
2105
2106
2107
2108
2109
2110
2111
2112
2113
2114
2115
2116
2117
2118
2119
2120
2121
2122
2123
2124
2125
2126
2127
2128
2129
2130
2131
2132
2133
2134
2135
2136
2137
2138
2139
2140
2141
2142
2143
2144
2145
2146
2147
2148
2149
2150
2151
2152
2153
2154
2155
2156
2157
2158
2159
2160
2161
2162
2163
2164
2165
2166
2167
2168
2169
2170
2171
2172
2173
2174
2175
2176
2177
2178
2179
2180
2181
2182
2183
2184
2185
2186
2187
2188
2189
2190
2191
2192
2193
2194
2195
2196
2197
2198
2199
2200
2201
2202
2203
2204
2205
2206
2207
2208
2209
2210
2211
2212
2213
2214
2215
2216
2217
2218
2219
2220
2221
2222
2223
2224
2225
2226
2227
2228
2229
2230
2231
2232
2233
2234
2235
2236
2237
2238
2239
2240
2241
2242
2243
2244
2245
2246
2247
2248
2249
2250
2251
2252
2253
2254
2255
2256
2257
2258
2259
2260
2261
2262
2263
2264
2265
2266
2267
2268
2269
2270
2271
2272
2273
2274
2275
2276
2277
2278
2279
2280
2281
2282
2283
2284
2285
2286
2287
2288
2289
2290
2291
2292
2293
2294
2295
2296
2297
2298
2299
2300
2301
2302
2303
2304
2305
2306
2307
2308
2309
2310
2311
2312
2313
2314
2315
2316
2317
2318
2319
2320
2321
2322
2323
2324
2325
2326
2327
2328
2329
2330
2331
2332
2333
2334
2335
2336
2337
2338
2339
2340
2341
2342
2343
2344
2345
2346
2347
2348
2349
2350
2351
2352
2353
2354
2355
2356
2357
2358
2359
2360
2361
2362
2363
2364
2365
2366
2367
2368
2369
2370
2371
2372
2373
2374
2375
2376
2377
2378
2379
2380
2381
2382
2383
2384
2385
2386
2387
2388
2389
2390
2391
2392
2393
2394
2395
2396
2397
2398
2399
2400
2401
2402
2403
2404
2405
2406
2407
2408
2409
2410
2411
2412
2413
2414
2415
2416
2417
2418
2419
2420
2421
2422
2423
2424
2425
2426
2427
2428
2429
2430
2431
2432
2433
2434
2435
2436
2437
2438
2439
2440
2441
2442
2443
2444
2445
2446
2447
2448
2449
2450
2451
2452
2453
2454
2455
2456
2457
2458
2459
2460
2461
2462
2463
2464
2465
2466
2467
2468
2469
2470
2471
2472
2473
2474
2475
2476
2477
2478
2479
2480
2481
2482
2483
2484
2485
2486
2487
2488
2489
2490
2491
2492
2493
2494
2495
2496
2497
2498
2499
2500
2501
2502
2503
2504
2505
2506
2507
2508
2509
2510
2511
2512
2513
2514
2515
2516
2517
2518
2519
2520
2521
2522
2523
2524
2525
2526
2527
2528
2529
2530
2531
2532
2533
2534
2535
2536
2537
2538
2539
2540
2541
2542
2543
2544
2545
2546
2547
2548
2549
2550
2551
2552
2553
2554
2555
2556
2557
2558
2559
2560
2561
2562
2563
2564
2565
2566
2567
2568
2569
2570
2571
2572
2573
2574
2575
2576
2577
2578
2579
2580
2581
2582
2583
2584
2585
2586
2587
2588
2589
2590
2591
2592
2593
2594
2595
2596
2597
2598
2599
2600
2601
2602
2603
2604
2605
2606
2607
2608
2609
2610
2611
2612
2613
2614
2615
2616
2617
2618
2619
2620
2621
2622
2623
2624
2625
2626
2627
2628
2629
2630
2631
2632
2633
2634
2635
2636
2637
2638
2639
2640
2641
2642
2643
2644
2645
2646
2647
2648
2649
2650
2651
2652
2653
2654
2655
2656
2657
2658
2659
2660
2661
2662
2663
2664
2665
2666
2667
2668
2669
2670
2671
2672
2673
2674
2675
2676
2677
2678
26

2003-045154

(51)Int.Cl.

G11B 20/10

H04N 5/91

H04N 5/92

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(72)Inventor : OKADA TOMOYUKI

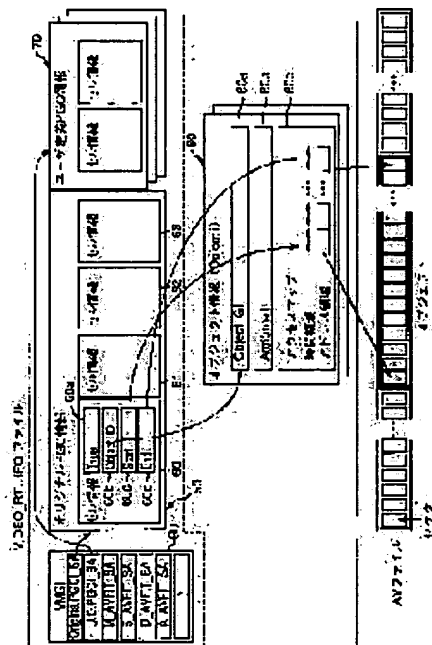
MURASE KAORU

TSUGA KAZUHIRO

Priority number : 10289089 Priority date : 12.10.1998 Priority country : JP

(57)Abstract:

SOLUTION: In the optical disk in which objects such as a picture or voice data are recorded, PGC information 50 for defining the order of reproduction of objects as control information and object information 80 being information related with the objects are recorded. The object information 80 is provided with general information 80a and attribute information 80b of objects and a map 80c in which the reproducing time of objects is made to correspond to the addresses of object configuration data to be reproduced on the optical disk. The PGC information 50 is provided with cell information 60, 61, and so on for designating the kinds, identification information, and reproduction blocks of objects to be reproduced. The order of the cell information 60, 61, and so on in the PGC information 50 corresponds to the order of reproduction of the objects.



70
EX-
170P
RQI
2.00
1.00
C
1.00
1.00

54

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-45154

(P2003-45154A)

(43) 公開日 平成15年2月14日 (2003.2.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	フォーマット* (参考)
G 1 1 B 27/00		G 1 1 B 27/00	D 5 C 0 5 2
20/10	3 0 1	20/10	3 0 1 Z 5 C 0 5 3
H 0 4 N 5/85		H 0 4 N 5/85	Z 5 D 0 4 4
5/91		5/91	Z 5 D 1 1 0
5/92		5/92	H

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号 特願2002-157730 (P2002-157730)
 (62) 分割の表示 特願2000-255998 (P2000-255998) の
 分割
 (22) 出願日 平成11年10月7日 (1999.10.7)
 (31) 優先権主張番号 特願平10-289089
 (32) 優先日 平成10年10月12日 (1998.10.12)
 (33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005821
 松下電器産業株式会社
 大阪府門真市大字門真1006番地
 (72) 発明者 岡田 智之
 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
 産業株式会社内
 (72) 発明者 村瀬 薫
 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
 産業株式会社内
 (74) 代理人 100062144
 弁理士 青山 稔 (外1名)

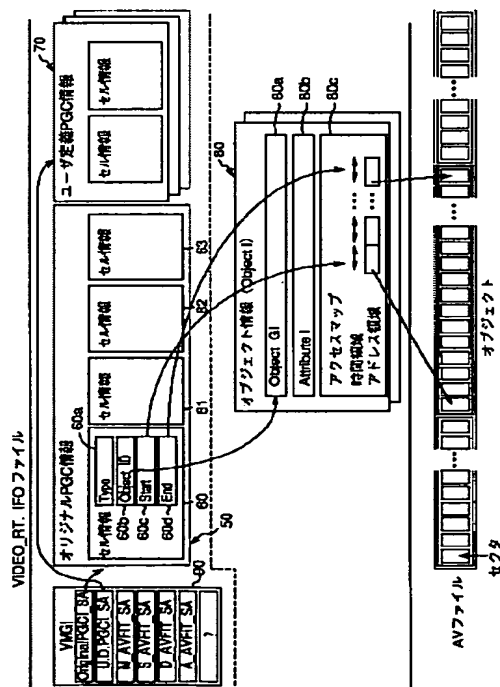
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報記録媒体、情報記録媒体に情報を記録、再生する装置および方法

(57) 【要約】

【課題】 種々のAVフォーマットのデータを統合して管理可能とする情報記録媒体並びに情報記録媒体に対しデータの記録、再生を行なう装置及び方法を提供する。

【解決手段】 画像や音声データ等のオブジェクトが記録される光ディスクにおいて、管理情報として、オブジェクトの再生順序を定義したPGC情報50と、オブジェクトに関する情報であるオブジェクト情報80とが記録される。オブジェクト情報80はオブジェクトの一般情報80a、属性情報80b及びオブジェクトの再生時刻と再生されるオブジェクト構成データの光ディスク上のアドレスとを対応づけるマップ80cを有する。PGC情報50は再生するオブジェクトの種類と、識別情報と、再生区間とを指定するセル情報60、61…を有する。PGC情報50内のセル情報60、61…の順序はオブジェクトの再生順序と対応する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ビデオオブジェクトと、前記ビデオオブジェクトを管理する管理情報とを記録する情報記録媒体において、

前記ビデオオブジェクトに許されるフォーマットには、少なくともデータ転送の単位サイズが異なる2種類以上のフォーマットがあり、

前記管理情報は、記録された各ビデオオブジェクトに対応する、タイプ情報とオブジェクト情報とを含み、

前記タイプ情報は記録される各ビデオオブジェクトのフォーマット種類を示し、

前記オブジェクト情報は、ビデオオブジェクトのフォーマット種類に依存した形式で複数種類の情報を含み、前記複数種類の情報には、対応するビデオオブジェクトの再生時刻とその時刻に再生されるビデオオブジェクトの再生区間が記録された情報記録媒体上のアドレスを得るためのマップ情報が含まれる、情報記録媒体。

【請求項2】 前記管理情報は、さらに、再生するビデオオブジェクトの再生区間と再生順序を示す情報を含み、

前記タイプ情報は、各再生区間毎に対応するビデオオブジェクトのフォーマット種類を示す、請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項3】 前記タイプ情報が示すフォーマット種類には、少なくとも、MPEGトランスポートストリームが含まれる、請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項4】 請求項1記載の情報記録媒体を再生する再生装置であって、

前記再生装置は、

前記情報記録媒体から前記ビデオオブジェクトと前記管理情報を読み出す読み出し手段と、

読み出したビデオオブジェクトをビデオオブジェクトのフォーマット種類にしたがいデコードする複数のデコード手段と、

前記読み出し手段と前記デコード手段とを制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、読み出した管理情報に基づき、再生区間として読み出すビデオオブジェクトのアドレスと、読み出したビデオオブジェクトをデコードするデコード手段とを判定する、再生装置。

【請求項5】 請求項1記載の情報記録媒体にデータを記録する記録装置であって、

前記記録装置は、

前記ビデオオブジェクトと前記管理情報とを前記情報記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、記録されるビデオオブジェクトの管理情報として、記録されるビデオオブジェクトの前記マップ情報を前記ビデオオブジェクトのフォーマットタイプに基づき生成する、記録装置。

【請求項6】 請求項1記載の情報記録媒体を再生する再生方法であって、前記再生方法は、

前記情報記録媒体から前記ビデオオブジェクトと前記管理情報を読み出す読み出しステップと、

読み出したビデオオブジェクトをビデオオブジェクトのフォーマット種類にしたがいデコードする複数のデコードステップと、

前記読み出しステップと前記デコードステップとを制御する制御ステップとを包含し、

前記制御ステップは、読み出した管理情報に基づき、再生区間として読み出すビデオオブジェクトのアドレスと、読み出したビデオオブジェクトをデコードするデコードステップとを判定する、再生方法。

【請求項7】 請求項1記載の情報記録媒体にデータを記録する記録方法であって、

前記記録方法は、

前記ビデオオブジェクトと前記管理情報とを前記情報記録媒体に記録する記録ステップと、

前記記録ステップを制御する制御ステップとを包含し、前記制御ステップは、記録されるビデオオブジェクトの管理情報として、記録されるビデオオブジェクトの前記マップ情報を前記ビデオオブジェクトのフォーマットタイプに基づき生成する、記録方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、読み書き可能な情報記録媒体に関し、特に、動画像データおよび静止画データおよびオーディオデータ等の種々のフォーマットのデータを含むマルチメディアデータが記録される情報記録媒体に関する。さらに、そのような情報記録媒体に対してデータを記録する装置及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】650MB程度が上限であった書き換え型光ディスクの分野で数GBの容量を有する相変化型ディスクDVD-RAMが出現した。また、デジタルAVデータの符号化規格であるMPEG(MPEG2)の実用化とあいまってDVD-RAMは、コンピュータ用途だけでなくオーディオ・ビデオ(AV)技術分野における記録・再生メディアとして期待されている。つまり従来の代表的なAV記録メディアである磁気テープに代わるメディアとして普及が予測される。

【0003】(DVD-RAMの説明)近年、書き換え可能な光ディスクの高密度化が進みコンピュータデータやオーディオデータの記録に留まらず、画像データの記録が可能となりつつある。

【0004】例えば、光ディスクの信号記録面には、従来から凸凹上のガイド溝が形成されている。

【0005】従来は凸または凹にのみ信号を記録していたが、ランド・グループ記録法により凸凹両方に信号を記録することが可能となった。これにより約2倍の記録

密度向上が実現した。例えば特開平8-7282号公報に記載されたものが知られている。

【0006】また、記録密度を向上させるために有効なCLV方式（線速度一定記録）の制御を簡易化し実用化を容易とするゾーンCLV方式なども考案、実用化されている。これは、例えば特開平7-93873号公報に開示されている。

【0007】これらの大容量化を目指す光ディスクを用いて如何に画像データを含むAVデータを記録し、従来のAV機器を大きく超える性能や新たな機能を実現するかが今後の大きな課題である。

【0008】このような大容量で書き換え可能な光ディスクの出現により、今後AVの記録・再生も従来のテープに代わり光ディスクが主体となることが考えられる。テープからディスクへの記録メディアの移行は、AV機器の機能・性能面で様々な影響を与える。

【0009】ディスクへの移行において最大の特徴はランダムアクセス性能の大幅な向上である。仮にテープをランダムアクセスする場合、一巻きの巻き戻しに通常数分オーダーの時間が必要である。これは光ディスクメディアにおけるシーク時間（数10ms以下）に比べて桁違いに遅い。従ってテープは実用上ランダムアクセス装置になり得ない。

【0010】このようなランダムアクセス性能によって、従来のテープでは不可能であったAVデータの分散記録が光ディスクでは可能となった。

【0011】図1は、DVDレコーダのドライブ装置のブロック図である。ドライブ装置は、DVD-RAMディスク10のデータを読み出す光ピックアップ11、ECC（Error Correcting Code）処理部12、1トラックバッファ13、トラックバッファへ13の入出力を切り替えるスイッチ14、エンコーダ部15及びデコーダ部16を備える。

【0012】図に示すように、DVD-RAMディスク10には、1セクタ=2KBを最小単位としてデータが記録される。また、16セクタ=1ECCブロックとして、ECC処理部12でエラー訂正処理が施される。

【0013】トラックバッファ13は、DVD-RAMディスク10にAVデータをより効率良く記録するため、AVデータを可変ビットレートで記録するためのバッファである。DVD-RAM100への読み書きレート（Va）が固定レートであるのに対して、AVデータはその内容（ビデオであれば画像）の持つ複雑さに応じてビットレート（Vb）が変化するため、このビットレートの差を吸収するためのバッファである。例えば、ビデオCDのようにAVデータを固定ビットレートとした場合、トラックバッファ13は不要となる。

【0014】このトラックバッファ13を更に有効利用すると、ディスク10上にAVデータを離散配置することが可能になる。図2を用いてこれを説明する。

【0015】図2（a）は、ディスク上のアドレス空間を示す図である。図2（a）に示す様にAVデータが[a1, a2]の連続領域と[a3, a4]の連続領域に分かれて記録されている場合、a2からa3へシークを行っている間、トラックバッファに蓄積してあるデータをデコーダ部16へ供給することでAVデータの連続再生が可能になる。この時の状態を示したのが図2（b）である。

【0016】位置a1で読み出しを開始したAVデータは、時刻t1からトラックバッファへ13入力されるとともに、トラックバッファ13からデータの出力が開始される。これにより、トラックバッファへの入力レート（Va）とトラックバッファからの出力レート（Vb）のレート差（Va-Vb）の分だけトラックバッファへデータが蓄積されていく。この状態が、検索領域がa2に達するまで、すなわち、時刻t2に達するまで継続する。この間にトラックバッファ13に蓄積されたデータ量をB（t2）とすると、時間t2から、領域a3のデータの読み出しを開始する時刻t3までの間、トラックバッファ13に蓄積されているB（t2）を消費してデコーダ16へ供給しつづけられれば良い。

【0017】言い方を換えれば、シーク前に読み出すデータ量（[a1, a2]）が一定量以上確保されていれば、シークが発生した場合でも、AVデータの連続供給が可能である。

【0018】なお、ここでは、DVD-RAMからデータを読み出す、即ち再生の場合の例を説明したが、DVD-RAMへのデータの書き込み、即ち録画の場合も同様に考えることができる。

【0019】上述したように、DVD-RAMでは一定量以上のデータが連続記録さえされていればディスク上にAVデータを分散記録しても連続再生／録画が可能である。

【0020】更に、この大容量記録メディアであるDVD-RAMをより効果的に使用するため、DVD-RAMでは図3に示すように、UDF（Universal Disc Format）ファイルシステムをのせ、PC上でのアクセスを可能としている。UDFの情報は図中のVolumeに記録される。UDFファイルシステムの詳細は「Universal Disc Format Standard」に開示されている。

【0021】（従来のAV機器）次に従来、我々が使用してきたAV機器について説明する。図4は、従来のAV機器とメディア、フォーマットの関係を示した図である。例えば、ユーザがビデオを見ようと思えば、ビデオカセットをVTRに入れ、テレビで見るのが当たり前であり、音楽を聞こうと思えば、CDをCDプレーヤやCDラジカセに入れてスピーカまたはヘッドホンで聞くのが当たり前であった。つまり、従来のAV機器では一つのフォーマット（ビデオまたはオーディオ）に対応した一つのメディアと一対になっているものであった。

【0022】このため、ユーザは見たい、聞きたいものに対して、常にメディアやAV機器を取り替える必要があり、不便さを感じていた。

【0023】（デジタル化）また、近年のデジタル技術の普及によって、パッケージソフトとしてDVDビデオディスクが、放送系としてデジタル衛星放送が実用化されてきた。これらの背景にデジタル技術の革新、特に国際標準規格であるMPEGの実用化があることは言うまでもない。

【0024】図5は、前述したDVDビデオディスクとデジタル衛星放送で使用されているMPEGストリームの図である。MPEG規格は図5に示すような階層構造を持っている。ここで重要なことは、最終的にアプリケーションが使用するMPEGストリームは、DVDビデオディスクのようなパッケージメディア系とデジタル衛星放送のような通信メディア系とで異なることである。前者は「MPEGプログラムストリーム」と呼ばれ、DVDビデオディスクなどの記録単位となるセクタ（DVDの場合2048バイト）を意識したパック単位でデータの転送が行われ、後者は「MPEGトランスポートストリーム」と呼ばれ、特にATMを意識して188バイト単位のTSパケット単位でデータの転送が行われる。

【0025】デジタル技術や映像音声の符号化技術であるMPEGによってAVデータはメディアに依存無く自由に扱えるものと期待されてきたが、このような微妙な差もあって、現在までにパッケージメディアと通信メディアの双方に対応したAV機器やメディアは存在していない。

【0026】（DVD-RAMによる影響）大容量を有するDVD-RAMの登場は、従来のAV機器で感じていた不便さの解消に一步近づくことを意味している。前述したようにDVD-RAMは、UDFファイルシステムを乗せることで、PCからのアクセスを可能とした。この結果、PC上でさまざまなアプリケーションソフトを使用して、ビデオ、静止画、オーディオなどさまざまなコンテンツをPCという一つの機器の上で楽しむことが可能になった。

【0027】図6に示すように、画面上に表示されているファイルにマウスカーソルを移動しダブルクリック（またはシングルクリック）するだけで画面左上のようにファイルの内容である動画像が再生される。

【0028】このような利便性は、PCの持つ柔軟さとDVD-RAMの持つ大容量があいまって実現できた世界であるといえる。

【0029】確かに近年のPCの普及によって、図6に示すようにPC上でさまざまなAVデータが簡単に扱えるようになってきた。しかしながら、PCユーザの数が増えているとはいえ、テレビやビデオなどの民生用AV機器の普及率や使い易さには及ばないことは言うまでも

ない。

【0030】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、次世代AV記録メディアとして期待されるDVD-RAM等の光ディスクにおいて、その性能を最大限に引き出す上で支障となる以下の課題を解決する。

【0031】DVDレコーダが目指す世界は、図7に示すような単一のメディア、単一のAV機器でさまざまなフォーマットやコンテンツをユーザが個々のフォーマットを意識すること無く、自由に表示再生できる世界である。

【0032】図8は、DVDレコーダにおけるメニュー画面の一例である。このメニューでは、デジタル衛星放送の”1) 洋画劇場”、地上波放送の”朝の連続ドラマ”、”ワールドカップ決勝”やCDからダビングした”4) ベートーヴェン”が、記録元のメディアや記録フォーマットを意識すること無くテレビ画面上で選択可能である。

【0033】このようなDVDレコーダを実現する際の最大の課題は、様々なフォーマットからなるAVデータおよびAVストリームを如何に統一的に管理できるかである。

【0034】限られたフォーマットのみを管理するのであれば、特別な管理手法を用いる必要はないが、既存の多数のフォーマットだけでなく今後登場する新たなフォーマットに対しても対応ができる管理手法を用いておくことが、前述したDVDレコーダの目指す世界を実現することにつながる。

【0035】また、さまざまなAVストリームを統一的に扱えるか否かによって生じるユーザインターフェースの差異によっては、従来例で説明したような不便さ、つまり、コンテンツやフォーマット毎にユーザが意識して操作を行う必要が出てくる可能性がある。

【0036】本発明は上記課題を解決すべくなされたものであり、その目的とするところは、さまざまなAVストリームを統一的に扱える情報記録媒体を提供し、さらに、そのような情報記録媒体に対するデータの記録、再生装置及び方法を提供することにある。

【0037】

【課題を解決するための手段】本発明に係る記録媒体は、ビデオオブジェクトと、前記ビデオオブジェクトを管理する管理情報とを記録する情報記録媒体である。ビデオオブジェクトに許されるフォーマットには、少なくともデータ転送の単位サイズが異なる2種類以上のフォーマットがある。管理情報は、記録された各ビデオオブジェクトに対応する、タイプ情報とオブジェクト情報とを含む。タイプ情報は記録される各ビデオオブジェクトのフォーマット種類を示す。オブジェクト情報は、ビデオオブジェクトのフォーマット種類に依存した形式で複数種類の情報を含む。複数種類の情報には、対応するビ

デオオブジェクトの再生時刻とその時刻に再生されるビデオオブジェクトの再生区間が記録された情報記録媒体上のアドレスを得るためのマップ情報が含まれる。

【0038】本発明に係る再生装置は、上記の情報記録媒体を再生する再生装置である。その再生装置は、情報記録媒体からビデオオブジェクトと管理情報を読み出す読み出し手段と、読み出したビデオオブジェクトをビデオオブジェクトのフォーマット種類にしたがいデコードする複数のデコード手段と、読み出し手段とデコード手段とを制御する制御手段とを備える。制御手段は、読み出した管理情報に基づき、再生区間として読み出すビデオオブジェクトのアドレスと、読み出したビデオオブジェクトをデコードするデコード手段とを判定する。

【0039】本発明に係る記録装置は、上記の情報記録媒体にデータを記録する記録装置である。その記録装置は、ビデオオブジェクトと管理情報とを情報記録媒体に記録する記録手段と、記録手段を制御する制御手段とを備える。制御手段は、記録されるビデオオブジェクトの管理情報として、記録されるビデオオブジェクトのマップ情報をビデオオブジェクトのフォーマットタイプに基づき生成する。

【0040】本発明に係る再生方法は、上記の情報記録媒体を再生する再生方法である。その再生方法は、情報記録媒体からビデオオブジェクトと管理情報を読み出す読み出しステップと、読み出したビデオオブジェクトをビデオオブジェクトのフォーマット種類にしたがいデコードする複数のデコードステップと、読み出しステップと前記デコードステップとを制御する制御ステップとを包含する。制御ステップは、読み出した管理情報に基づき、再生区間として読み出すビデオオブジェクトのアドレスと、読み出したビデオオブジェクトをデコードするデコードステップとを判定する。

【0041】本発明に係る記録方法は、上記の情報記録媒体にデータを記録する記録方法である。その記録方法は、ビデオオブジェクトと管理情報とを情報記録媒体に記録する記録ステップと、記録ステップを制御する制御ステップとを包含する。制御ステップは、記録されるビデオオブジェクトの管理情報として、記録されるビデオオブジェクトのマップ情報をビデオオブジェクトのフォーマットタイプに基づき生成する。

【0042】

【発明の実施の形態】以下、添付の図面を用いて本発明に係る情報記録媒体、記録装置及び再生装置の一実施形態であるDVD-RAM、DVDレコーダ及びDVDプレーヤについて詳細に説明する。

【0043】(DVD-RAM上のデータ論理構成) 本発明に係るDVD-RAMは、一枚のディスクにおいて種々のフォーマットのAVデータおよびAVストリームの記録を可能とし、これらのデータを統一的に管理可能とするものである。これにより、例えば、地上波放送、

MPEGトランスポートストリームフォーマットで送信されるデジタル放送、デジタルビデオカメラで撮影した映像、デジタルスチルカメラで撮影した静止画及びMPEGプログラムストリームで記録されたビデオデータ等の種々の異なるフォーマットのAVストリームを一枚のディスクに記録することが可能となる。また、DVD-RAMに記録されたデータは、所定の順序で再生することができる。このために、本発明に係るDVD-RAMは、AVデータおよびAVストリームのフォーマットの種類に依存せずにAVデータおよびAVストリームを管理するための管理情報を備えている。

【0044】まず、本発明に係るDVD-RAMに記録されるデータのデータ構成について図9を用いて説明する。図9(a)は、DVD-RAMディスク100についてファイルシステムを通して見えるディスク100上のデータ構成を、図9(b)は、ディスク100上の物理セクタの構成を示した図である。

【0045】図に示すように、物理セクタの先頭部分にはリードイン領域31があり、サーボを安定させるために必要な規準信号や他のメディアとの識別信号などが記録されている。リードイン領域31に続いてデータ領域33が存在する。この部分に論理的に有効なデータが記録される。最後にリードアウト領域35がありリードイン領域31と同様な規準信号等が記録される。

【0046】データ領域33の先頭にはボリューム情報と呼ばれるファイルシステム用の管理情報が記録される。ファイルシステムは周知の技術であるためここでの説明は省略する。

【0047】ファイルシステムを介して図9(a)に示すようにディスク100内のデータをディレクトリやファイルとして扱うことが可能になる。図9(a)に示すように、DVDレコーダが扱う全てのデータは、ROOTディレクトリ直下のVIDEO_RTディレクトリ下で管理される。

【0048】本実施形態のDVDレコーダが扱うファイルには、オーディオ・ビデオデータ(AVデータ)を含むAVファイルと、それらのAVファイルを管理するための情報を含む管理情報ファイルの2種類のファイルがある。図9(a)に示す例では、管理情報ファイルは「VIDEO_RT. IFO」であり、AVファイルは、動画データを含むファイルである「M_VOB. VOB」、デジタル放送用映像データを含むファイルである「D_VOB. VOB」、オーディオ用データを含むファイルである「AOB. AOB」等である。以下にこれらのファイルについて詳細に説明する。

【0049】なお、本実施形態においては、個々のAVストリームをオブジェクト(object)として定義している。すなわち、オブジェクトには、MPEGプログラムストリーム、MPEGトランスポートストリーム、オーディオストリームや静止画データ等の種々のA

Vストリームが含まれる。ここでは、これらのAVストリームを抽象化してオブジェクトとして捕らえることにより、これらのAVストリームの管理情報を、統一したオブジェクト情報 (Object I) として定義する。

【0050】 (管理情報) 最初に、管理情報について図10を用いて説明する。管理情報は、オブジェクトの記録位置等を管理するオブジェクト情報80と、DVD-RAMに記録されているデータの中で再生されるべきデータの再生順序及び再生時間等を定義するPGC情報50、70とを有する。

【0051】 AVストリームは、そのフォーマットによって個々の違いはあるが、例えば時間属性を有するなど共通化できる要素も有しているため、このような抽象化が可能である。また、同一フォーマットを有するAVストリームは同一AVファイル内に記録順に格納される。

【0052】 オブジェクト情報 (Object I) 80は、オブジェクトに関する一般情報 (Object G I) 80aと、オブジェクトの属性情報 (Attribute I) 80bと、オブジェクトの再生時間をディスク上のアドレスに変換するアクセスマップ80cとから構成されている。

【0053】 アクセスマップ80cを必要とするのは、AVストリームが一般に時間軸とデータ (ビット列) 軸の二つの基準を有しており、この二つの基準間には完全な相関性がないためである。例えば、ビデオストリームの国際標準規格であるMPEG-2ビデオの場合、可変ビットレート (画質の複雑さに応じてビットレートを変える方式) を用いることが主流になりつつあり、この場合、先頭からのデータ量と再生時間との間に比例関係がないため、時間軸を基準にしたランダムアクセスができない。この問題を解決するため、オブジェクト情報80は、時間軸とデータ (ビット列) 軸との間の変換を行なうためのアクセスマップ80cを有している。後述するように1つのオブジェクトは複数のオブジェクトユニット (VOBU) からなるため、アクセスマップ80cはオブジェクトユニット毎に時間領域とアドレス領域とを対応づけるためのデータを有している。

【0054】 PGC情報50、70は、DVD-RAM100に記録される画像データや音声データすなわちオブジェクトの再生を制御するための情報である。PGC情報50、70は、DVDプレーヤが連続してデータ再生を行う際の一つの単位を示す情報である。すなわち、PGC情報50、70は、再生するオブジェクトと、そのオブジェクトにおける任意の再生区間とを示したセル60、61、62、63の再生シーケンスを示す。セル60…については後述する。PGC情報50、70には、DVDレコーダがオブジェクト記録時に全記録オブジェクトを示すように自動生成するオリジナルPGC情報50と、ユーザが自由に再生シーケンスを定義できる

ユーザ定義PGC情報70の2種類がある。ユーザ定義PGC情報70がユーザにより定義される点を除いて、両PGC情報50、70の構成、機能は同様であるので、以下、オリジナルPGC情報50について詳細に説明する。

【0055】 図10に示すように、オリジナルPGC情報50は少なくとも1つのセル情報60、61、62、63を含む。セル情報60…は再生するオブジェクトを指定し、かつ、そのオブジェクトの再生区間を指定する。通常、PGC情報50は複数のセルをある順序で記録している。PGC情報50におけるセル情報の記録順序は、各セルが指定するオブジェクトが再生されるときに再生順序を示す。

【0056】 一のセル情報60には、それが指定するオブジェクトの種類を示すタイプ情報 (Type) 60aと、オブジェクトの識別情報であるオブジェクトID (Object ID) 60bと、時間軸上でのオブジェクト内の開始位置情報 (Start) 60cと、時間軸上でのオブジェクト内の終了位置情報 (End) 60dとが含まれる。

【0057】 データ再生時は、PGC情報50内のセル情報60が順次読み出され、各セルにより指定されるオブジェクトが、セルにより指定される再生区間分再生される。

【0058】 (オブジェクト情報のサブクラス) 抽象化したオブジェクト情報を実際のAVストリームに適用するためには、より具体化する必要がある。この考え方は、オブジェクト指向モデルに見られるクラスの継承、特に、オブジェクト情報をスーパークラスとして、各AVストリーム用に具体化した構造をサブクラスと捉えるのとわかり易い。図11に具体化したサブクラスを示す。

【0059】 本実施形態では、図11に示すように、オブジェクト情報のサブクラスとして、動画サブクラス、静止画像サブクラス、オーディオサブクラス、デジタル放送サブクラスの各サブクラスを定義する。すなわち、ビデオ用のオブジェクト情報 (MPEGプログラムストリーム) である動画オブジェクト情報 (M_VOB I : Movie Video Object Information)、デジタル放送データ (MPEGトランスポートストリーム) 用のオブジェクト情報であるデジタル放送オブジェクト情報 (D_VOB I : Digital Video Object Information)、オーディオ用のオブジェクト情報であるオーディオ・オブジェクト情報 (AOB I : Audio Object Information)、静止画像用のオブジェクト情報である静止画オブジェクト情報 (S_VOBS I : Still Picture Video Object Information) を具体例として定義する。以下、それぞれのオブジェクト情報について説明する。

【0060】 動画オブジェクト情報82は、MPEGプログラムストリームの一般情報 (M_VOB_G I) 82aと、動画オブジェクトのストリーム情報 (M_VO

B__STI) 82 bと、Tマップ82 cとを有する。

【0061】一般情報(M__VOB__GI) 82 aは、動画オブジェクトの識別情報(M__VOB__ID)と、動画オブジェクトの記録時刻(M__VOB__REC__TM)と、動画オブジェクトの開始時刻情報(M__VOB__V__S__PTM)と、動画オブジェクトの終了時刻情報(M__VOB__V__E__PTM)とから構成される。

【0062】動画オブジェクトのストリーム情報(M__VOB__STI) 82 bは、ビデオストリームのコーディングモードをはじめとするビデオストリーム情報(V__ATR)と、オーディオストリームの本数(AS__Ns)と、オーディオストリームのコーディングモードをはじめとするオーディオストリーム情報(A__ATR)とから構成される。

【0063】Tマップ82 cは、AVファイル内での動画オブジェクトの先頭アドレスと、各動画オブジェクトユニット(VOBU)の再生時間(VOBU__PB__TM)と、データサイズ(VOBU__SZ)とを有する。ここで、動画オブジェクトユニット(VOBU)とは、動画オブジェクト(M__VOB)内の最小アクセス単位を示すが、その詳細は後述する。

【0064】デジタル放送オブジェクト情報(D__VOBI) 86は、MPEGトランスポートストリームの一般情報(D__VOB__GI) 86 aと、ストリーム情報(D__VOB__STI) 86 bと、Tマップ86 cとを有する。

【0065】デジタル放送オブジェクトの一般情報(D__VOB__GI) 86 aは、デジタル放送オブジェクトの識別情報(D__VOB__ID)と、デジタル放送オブジェクトの記録時刻(D__VOB__REC__TM)と、デジタル放送オブジェクトの開始時刻情報(D__VOB__V__S__PTM)と、デジタル放送オブジェクトの終了時刻情報(D__VOB__V__E__PTM)とから構成される。

【0066】デジタル放送オブジェクトのストリーム情報(D__VOB__STI)は、デジタル放送で配送される付加情報を格納する情報(PROVIDER__INF)を含む。Tマップ86 cは、AVファイル内でのデジタル放送オブジェクト(D__VOB)の先頭アドレスと、各オブジェクトユニット(VOBU)の再生時間(VOBU__PB__TM)と、データサイズ(VOBU__SZ)とを有する。

【0067】オーディオ・オブジェクト情報(AOB__I) 88は、オーディオストリームの一般情報(AOB__GI) 88 aと、オーディオストリームのストリーム情報(AOB__STI) 88 bと、Tマップ88 cとから構成される。オーディオストリームの一般情報(AOB__GI) 88 aは、オーディオ・オブジェクトの識別情報(AOB__ID)と、オーディオ・オブジェクトの記録時刻(AOB__REC__TM)と、オーディオ・オ

ブジェクトの開始時刻情報(AOB__S__TM)と、オーディオ・オブジェクトの終了時刻情報(AOB__E__TM)とから構成される。AOBのストリーム情報(AOB__STI) 88 bは、オーディオストリームのコーディングモードをはじめとするオーディオストリーム情報(A__ATR)を含む。Tマップは、AVファイル内でのAOB先頭アドレスと、オーディオ・オブジェクトユニット(AOBU)毎の再生時間(AOBU__PB__TM)と、データサイズ(AOBU__SZ)とを有する。ここで、オーディオ・オブジェクトユニット(AOBU)は、オーディオ・オブジェクト(AOB)内の最小アクセス単位を示すが、その詳細は後述する。

【0068】静止画オブジェクト情報(S__VOBS__I) 84は、静止画像の一般情報(S__VOBS__GI) 84 aと、静止画像のストリーム情報(S__VOBS__STI) 84 bと、Sマップ84 cとからなる。静止画像の一般情報(S__VOBS__GI) 84 aは、静止画オブジェクトの識別情報(S__VOBS__ID)と、静止画オブジェクトの記録時刻(S__VOBS__REC__TM)、静止画オブジェクトの開始静止画番号(S__VOBS__S__NO)、静止画オブジェクトの終了静止画番号(S__VOBS__E__NO)とから構成される。静止画像のストリーム情報(S__VOBS__STI) 84 bは、静止画オブジェクトの圧縮フォーマットをはじめとする静止画属性情報(V__ATR)を含む。Sマップ84 cは、AVファイル内でのS__VOBSの先頭アドレスと各静止画のデータサイズ(S__VOB__SZ)とを有する。

【0069】このように、抽象化されているオブジェクト情報を具体化することで、図11に示すように、個々のAVストリームに対し、対応するストリーム情報テーブルが定義できる。

【0070】(オブジェクト情報とセル情報の対応)次に、図12を用いてオブジェクト情報(Object__I)の具体化の1つである動画オブジェクト情報(M__VOBI)について、セル情報との対応関係について説明する。

【0071】セル情報に指定されたタイプ情報(Type)の値が、「M__VOB」であれば、そのセルは動画オブジェクトに対応していることを意味する。同様に、タイプ情報の値が「D__VOB」であれば、そのセルはデジタル放送用オブジェクトに対応し、タイプ情報の値が「AOB」であれば、オーディオ・オブジェクトに対応していることを意味する。

【0072】オブジェクトID(Object__ID)をもとに、対応するオブジェクト情報(VOBI)を見つけてことができる。オブジェクトIDと、動画オブジェクト情報(M__VOBI)における一般情報(M__VOB__GI)に含まれる動画オブジェクトID(識別番号)(M__VOB__ID)とは一対一に対応している。

【0073】このように、タイプ情報 (Type) とオブジェクトID (Object ID) によって、セル情報に対応するオブジェクト情報を探しだすことが可能である。

【0074】セル情報における開始位置情報 (Start) は、動画オブジェクトの開始時刻情報 (M_VOB_V_S_PTM) と対応し、それらが示す値が同一時刻であれば、そのセルは動画オブジェクトの先頭からの再生を示している。開始位置情報 (Start) の値が開始時刻情報 (M_VOB_V_S_PTM) より大きい場合、そのセルは動画オブジェクトの途中からの再生を示している。また、この場合、開始時刻情報 (M_VOB_V_S_PTM) の値と、開始位置情報 (Start) の値との差 (時間差) だけ、セルは動画オブジェクトの先頭から遅れて再生を開始することを意味する。また、セルの終了位置情報 (End) と動画オブジェクトの終了時刻情報 (M_VOB_V_E_PTM) も同様の関係を有している。

【0075】このように、セル情報内の開始位置情報 (Start) と、終了位置情報 (End) と、動画オブジェクト情報 (M_VOBI) 内の一般情報 (M_VOB_GI) 内の開始時刻情報 (M_VOB_V_S_PTM) と、終了時刻情報 (M_VOB_V_E_PTM) とから当該セルの再生開始および終了位置を動画オブジェクト内の相対時間として得ることができる。

【0076】動画オブジェクト内のTマップは、動画オブジェクトユニット (VOBU) 毎の再生時間とデータサイズとから構成されるテーブルである。前述したセルの動画オブジェクト内での再生開始および終了相対時間をこのTマップを参照することによりアドレスデータに変換することができる。

【0077】以下に、Tマップを参照したアドレス変換について図13を用いて具体的に説明する。

【0078】図13において、(a) は時間軸上でのビデオ表示を表現した動画オブジェクト (M_VOB) を、(b) は動画オブジェクトユニット (VOBU) 毎の再生時間長とデータサイズから構成されるタイムマップを、(c) は、データ (セクタ列) 軸上で表現した動画オブジェクトを、(d) は動画オブジェクト (M_VOB) の一部を拡大したバック列、(e) はビデオストリーム、(f) はオーディオストリームをそれぞれ示している。

【0079】動画オブジェクト (M_VOB) は、MPEGプログラムストリームのことであって、MPEGプログラムストリームでは、ビデオストリーム、オーディオストリームを順にパケット (PESパケット) 化して、このパケット (PESパケット) を複数束ねたパックのシーケンスである。この場合、1パック内に1パケット (PESパケット) を入れ、1パックを1セクタ (= 2048B) としてアクセスし易くしている。ま

た、バック化したビデオパック (V_PCK) およびオーディオパック (A_PCK) を多重化して1本のストリームにしている。この様子を示しているのが、図13 (c)、(d)、(e)、(f) である。

【0080】また、MPEGシステムストリーム (プログラムストリームおよびトランスポートストリームの総称) は、多重化したビデオおよびオーディオストリームの同期再生用にストリーム中にタイムスタンプを有している。プログラムストリームの場合、タイムスタンプはフレームの再生時刻を示すPTS (Presentation Time Stamp) である。前述の動画オブジェクトの開始時刻情報 (M_VOB_V_S_PTM)、動画オブジェクトの終了時刻情報 (M_VOB_V_E_PTM) は、このPTSを基準に求められた時刻情報である。一方、トランスポートストリームの場合は、バッファへの入力時刻を示すPCR (Program Clock Reference) をタイムスタンプとして用いる。

【0081】ここで動画オブジェクトユニット (VOBU) について説明する。動画オブジェクトユニット (VOBU) とは動画オブジェクト (M_VOB) 内の最小アクセス単位を示す。MPEGビデオストリームは高効率な画像圧縮を実現するために、ビデオフレーム内での空間周波数特性を用いた画像圧縮だけでなく、ビデオフレーム間つまり時間軸上での動き特性を用いた画像圧縮を行っている。これは、あるビデオフレームを伸長する場合に、時間軸上の情報、即ち、未来または過去のビデオフレームの情報が必要となり、ビデオフレームを単独で伸長することができないことを意味している。この問題を解決するため、MPEGビデオストリームでは、約0.5秒に1枚の割合で、時間軸上での動き特性を用いないビデオフレーム (I-ピクチャ) を挿入して、ランダムアクセス性を高めている。

【0082】動画オブジェクトユニット (VOBU) は、このI-ピクチャの先頭データを含むパックを先頭として、次のI-ピクチャの先頭データを含むパックの直前のパックまでの区間とする。Tマップでは、この各オブジェクトユニット (VOBU) のデータサイズ (パック数) と、オブジェクトユニット (VOBU) 内のビデオフレームの再生時間 (フィールド数) とから構成されている。

【0083】例えば、セルのStartで示す値と、動画オブジェクトの開始時刻情報 (M_VOB_V_S_PTM) の示す値との差が1秒 (60フィールド) であったと仮定する。

【0084】Tマップ内の各オブジェクトユニット (VOBU) の再生時間を先頭から積算していくことで、動画オブジェクト (M_VOB) の先頭からの各オブジェクトユニットの再生開始時刻を求めることができる。同様に各オブジェクトユニットのデータサイズ (パック数) を積算していくことで、動画オブジェクト (M_V

OB) の先頭からの各オブジェクトユニットのアドレスを求めることができる。

【0085】本実施形態の場合、動画オブジェクト (M_VOB) の先頭からそれぞれ 24、30、24 フィールドのオブジェクトユニット (VOBU) が並んでいるので、動画オブジェクト (M_VOB) の先頭から 1 秒 (60 フィールド) 後のビデオフレームは先頭から 3 番目のオブジェクトユニット (VOBU#3) に含まれていることが求められる。また、オブジェクトユニット (VOBU) のデータ量が動画オブジェクトの先頭からそれぞれ 125、98、115 セクタであるから、3 番目のオブジェクトユニット (VOBU#3) の先頭アドレスは、オブジェクトの先頭から 223 セクタであることが求められる。

【0086】これに、AV ファイル内での M_VOB の先頭アドレス (ADR_OFF) である 5010 セクタを加算することで、再生を開始するデータの先頭アドレスが求まる。

【0087】以上では、先頭から 60 フィールド目のビデオフレームからの再生を想定したが、前述したように MPEG ビデオの性質上、任意のビデオフレームからのデコードおよび再生は不可能であるので、1 ピクチャの先頭から再生されるように、6 フィールドずれた近傍のオブジェクトユニット (VOBU) の先頭からの再生としている。ただし、デコーダがこの 6 フィールド分をデコードのみ行い、表示をしないようにすることで、セルが指定するビデオフィールドからの再生も可能である。

【0088】上記の説明と同じように、セルの終了位置に対応する動画オブジェクトの再生終了時刻、AV ファイル内のアドレスを求めることができる。

【0089】次に、デジタル放送オブジェクト情報 (D_VOB_I) について説明する。デジタル放送オブジェクト情報も、オブジェクト情報から派生したサブクラスであるので、基本的には動画オブジェクト情報と同様である。大きな違いは、動画オブジェクト (M_VOB) は地上波が録画されることにより作成されることである。即ち、動画オブジェクトはレコーダがそれ自身でエンコードを行った AV ストリームであるのに対して、デジタル放送オブジェクト (D_VOB) は、デジタル放送衛星から送られるデータが直接記録されるため、レコーダがそれ自身でエンコードを行った AV ストリームではない。

【0090】つまり、それ自身でデータをエンコードした場合は、ストリームの内部構造が自明であるのに対して、データを直接記録した場合は、ストリームの内部を解析しない限り構造が分からないため、前述した T マップを作成することができないことになる。

【0091】デジタル衛星放送で供給される MPEG トランスポートストリームを詳細に解析することはでき

るが、本実施形態では、MPEG トランスポートストリーム内の情報を用いて T マップを作成している。次にこの方法を説明する。

【0092】図 14 において、(a) は MPEG トランスポートストリーム、(b) はトランスポートパケットの拡大図、(c) は PES パケット、(d) はビデオストリームをそれぞれ示す。

【0093】図 14 (a) に示すように、MPEG トランスポートストリームは、トランスポートパケットのパケット列で構成され、トランスポートパケットは、ヘッダ、適用フィールド (adaptation field) 及びペイロードから構成される。適用フィールドには、ランダムアクセスインジケータ (random_access_indicator) が含まれる。ランダムアクセスインジケータは、このトランスポートパケットまたは後続するトランスポートパケット (厳密には、同一のプログラム ID を有するトランスポートパケット) において、次の PES パケット (言い換えると、PES パケットの先頭バイトが最初に現れる PES パケット) 内に、ビデオストリームまたはオーディオストリームのアクセス点があることを示すものである。特に、ビデオストリームの場合は、前述した 1 ピクチャが含まれていることを意味している。

【0094】このランダムアクセスインジケータをもとに、ビデオオブジェクトユニット (VOBU) を決定し、T マップを生成することが可能である。

【0095】また、トランスポートパケットは、188 バイトの固定サイズである。このため、DVD-RAM の 1 セクタ 2048 バイト内に複数のトランスポートパケット (2048 バイト / 188 バイト = 10 TS パケット) が記録されることになる。動画オブジェクト (M_VOB) の場合、1 パック = 1 セクタとして扱えるがデジタル放送オブジェクト (D_VOB) の場合はこの条件は成り立たない。しかしながら、DVD-RAM に対してデータの読み書きができる単位はセクタであるので、デジタル放送オブジェクトの場合であっても、T マップ内の情報は、ビデオフィールド数で現した動画オブジェクトユニット (VOBU) の再生時間長と、セクタ数で現した動画オブジェクトユニットのデータサイズとで構成する。

【0096】このため、動画オブジェクトユニットを、トランスポートパケットからトランスポートパケットまでと定義すると、T マップのアドレス精度が不足するので、その代わりに、当該トランスポートパケット含むセクタを用いて動画オブジェクトユニット (VOBU) を定義する。

【0097】また、デジタル放送オブジェクトのストリーム情報 (D_VOB_STI) 内の PROVIDER_INF フィールドには、放送事業社を識別する ID と、放送事業社毎の固有の情報とが含まれる。

【0098】図 15 を用いてオーディオ・オブジェクト

情報 (AOBI) について説明する。オーディオ・オブジェクト情報も、動画オブジェクト情報と同様にオブジェクト情報から派生したサブクラスであるので、基本的には動画オブジェクト情報の場合と同様である。大きな違いは、オーディオ・オブジェクトがオーディオ専用のオブジェクトであり、かつ、MPEGシステムストリーム化されていない点である。以下に、オーディオ・オブジェクト情報を説明する。

【0099】オーディオ・オブジェクトはMPEGシステムストリーム化されていないため、オーディオ・オブジェクト中にはタイムスタンプが付けられておらず、セルおよびオブジェクトの再生開始時刻や再生終了時刻を示すための基準時刻が存在しない。そこで、オーディオ・オブジェクト情報における一般情報 (AOBI_GI) 内のオーディオ・オブジェクトの開始時刻 (AOB_A_STM) に0を入れ、オーディオ・オブジェクト情報の終了時刻 (AOB_A_ETM) にはオーディオ・オブジェクトの再生時間長を入れる。また、セル情報内のStartフィールドおよびEndフィールドには、オーディオ・オブジェクト内での相対時刻を入れる。

【0100】また、オーディオデータはMPEGビデオデータと異なり、全てのオーディオフレーム単位で再生が可能であるので、オーディオフレームの整数倍でオーディオ・オブジェクトユニット (AOBU) を構成することが可能である。ただし、オーディオ・オブジェクトユニット (AOBU) を細かくとりすぎるとTマップで管理するデータが膨大になってしまうので動画オブジェクトのオブジェクトユニット (VOBU) と同程度の0.5秒間隔程度にオーディオ・オブジェクトユニット (AOBU) を構成して、各オーディオ・オブジェクトユニットの再生時間長とデータサイズとをTマップにて管理する。

【0101】図16を用いて静止画オブジェクト情報 (S_VOBSI) について説明する。静止画オブジェクト情報 (S_VOBSI) も、動画オブジェクト情報と同様にオブジェクト情報から派生したサブクラスであるので、基本的には動画オブジェクト情報の場合と同様である。大きな違いは、静止画オブジェクトは、静止画データを複数集めたオブジェクトである点と、静止画オブジェクトがMPEGシステムストリーム化されていない点である。以下、静止画オブジェクト情報について説明する。

【0102】静止画は、動画や音声等と異なり時間情報を有していない。そこで、静止画オブジェクトの一般情報 (S_VOBS_GI) 内の開始、終了情報には、開始静止画番号 (Start_Video) および終了静止画番号 (End_Video) をそれぞれ記述する。また、セル内のStartおよびEndフィールドには、時刻情報でなく、静止画オブジェクト内での静止画

番号を記述する。

【0103】また、静止画集での最小アクセス単位は静止画単位であるので、アクセスマップとして、各静止画のデータサイズ (S_VOB_SZ) を含むテーブルであるSマップを定義している。

【0104】以上、説明したデータ構造をまとめたものを図17に示す。また、図17はDVD-RAMにおける管理情報全体を示す。以下に図17を用いて管理情報全体について説明する。図17に示すように、本実施形態のDVD-RAMには、前述のPGC情報50、70等の他に、ビデオ管理全体情報90や、各種のファイル情報テーブル92、94、96、98を備える。

【0105】ビデオ管理全体情報 (VMGI: Video Manager General Information) 90は、ディスク全体に関する管理情報であり、例えば、オリジナルPGC情報50、ユーザ定義PGC情報70、及び、各種ファイル管理テーブル92、94…等の開始アドレスすなわちポインタ情報を含んでいる。このポインタ情報を参照することにより、これらのテーブル50、70、82、94…へのアクセスが可能となる。

【0106】ここで、図17に示すファイル管理テーブル92、94、96、98について説明する。ファイル管理テーブル92、94、96、98のそれぞれは、オブジェクトから構成されるデータファイルを管理するためのテーブルであり、オブジェクトの種類毎に設けられている。例えば、動画オブジェクトを記録した動画ファイルを管理する動画ファイル管理テーブル92や、静止画オブジェクトを記録した静止画ファイルを管理する静止画ファイル管理テーブル94等がある。

【0107】前述のようにPGC情報内のセル情報のオブジェクトIDに基きオブジェクト情報が特定されるが、この場合、ファイル管理テーブル92、94、96、98を介してオブジェクト情報のアドレスが特定される。このため、ファイル管理テーブル92、94、96、98は、管理するオブジェクト情報の数、オブジェクトID、オブジェクト情報のサイズ等の情報を有している。例えば、オブジェクトIDが順番を示す場合、セル情報により指定されたオブジェクトIDに基いて、その指定されたオブジェクト情報が、ファイル管理テーブルにより管理されているオブジェクト情報の中の何番目のオブジェクト情報であるかを認識できる。その後、そのオブジェクト情報の順番と、ファイルサイズとからファイル管理テーブルの開始アドレスを基準としたオフセット量を計算することにより、その指定されたオブジェクト情報のアドレスを得ることができる。

【0108】図17に示すように、動画ファイル管理テーブル92は、動画オブジェクトを記録した動画ファイルを管理するテーブルである。動画ファイル管理テーブル92は、動画オブジェクト情報 (M_VOB_I) 92a、92b…と、そのテーブル92が管理する動画オブ

ジェクト情報の数、動画オブジェクトのサイズ等を含むテーブル管理情報(M_AVFIT) 92hとを含む。このテーブル管理情報92hに記述されている動画オブジェクト情報の数だけ、動画オブジェクト情報がディスク上に続けて記録されている。動画オブジェクト情報92a…は、前述のように、一般情報(M_VOB_GI)、ストリーム情報(M_VOB_STI)、Tマップを含む。また、Tマップは、各動画オブジェクトユニット(VOBU)の表示時間およびサイズ(VOBU_ENT)を含む。

【0109】また、静止画オブジェクトを記録した静止画ファイルの管理テーブル(S_AVFIT) 94、デジタル放送オブジェクトを記録したデジタル放送ファイルの管理テーブル(D_AVFIT) 96、オーディオ・オブジェクトを記録したオーディオファイルの管理テーブル(A_AVFIT) 98も同様の構成である。

【0110】オリジナルPGC情報50には、再生すべき順にセル情報61、62、63…が記録されている。セル情報はオブジェクト情報への対応情報(タイプおよびオブジェクトID)と、オブジェクト内での再生区間情報(StartおよびEnd)とを有している。セルが示す再生区間情報は、オブジェクト情報内のアクセスマップを通してオブジェクト実態のアドレス情報に変換することができる。

【0111】前述した通り、オリジナルPGC情報50とユーザ定義PGC情報70の違いは、オリジナルPGC情報50がディスクに記録されている全オブジェクトを再生するようにレコーダが自動生成したものに対して、ユーザ定義PGC情報70は、ユーザが好みに応じて自由に再生シーケンスを定義できるPGCであるだけであるので、ユーザ定義PGC情報70は、オリジナルPGC情報50と同一の構成を有している。

【0112】このように、AVストリーム用管理情報を先に抽象化しておくことで、再生制御情報であるPGC情報、セル情報をAVストリームフォーマット毎に固有な情報に依存しない形で定義することが可能となり、AVストリームを統合的に管理することが可能となる。これにより、AVフォーマットを意識せずにユーザが自由にAVデータの再生ができる環境が実現できる。

【0113】また、このような構成を有することにより、新たなAVフォーマットを取り込む場合、既存のAVフォーマットと同じようにオブジェクト情報から派生した管理情報を規定することで、データ構造中に簡単に取り込むことが可能である。

【0114】(プレーヤモデル) 次に、図18を用いて上記光ディスクを再生するプレーヤモデルについて説明する。図18に示すように、プレーヤは、光ディスク100からデータを読み出す光ピックアップ1701と、読み出したデータのエラー訂正等を行なうECC処理部

1702と、エラー訂正後の読み出しデータを一時的に格納するトラックバッファ1703と、動画オブジェクト(M_VOB)等のプログラムストリームを再生するPSデコーダ1705と、デジタル放送オブジェクト(D_VOB)等のトランスポートストリームを再生するTSデコーダ1706と、オーディオ・オブジェクト(AOB)を再生するオーディオデコーダ1707と、静止画をデコードする静止画デコーダ1708と、各デコーダ1705、1706…へのデータ入力を切り換える切換え手段1710と、プレーヤの各部を制御する制御部1711とを備える。

【0115】光ディスク100上に記録されているデータは、光ピックアップ1701から読み出され、ECC処理部1702を通してトラックバッファ1703に格納される。トラックバッファ1703に格納されたデータは、PSデコーダ1705、TSデコーダ1706、オーディオデコーダ1707、静止画デコーダ1708の何れかに入力されデコードおよび出力される。このとき、制御部1711が、読み出したデータから前述の方法で再生シーケンスを規定するPGC情報内のセル情報のタイプ情報を判断して切換え部1710を切り換えることにより、読み出しデータをデコードするために適した一のデコーダを選択する。

【0116】また、本実施形態のプレーヤは、さらに、AVストリームを外部に供給するためのデジタルインタフェース1704を有している。これにより、AVストリームをIEEE1394やIEC958などの通信プロトコルを介して外部に供給することも可能である。これは、特に、新たなAVフォーマットを取り込んだ場合、プレーヤ内部のデコーダを介さずにデジタルインタフェース1704を通じて外部のAV機器に出力し、そのAV機器で再生させるときに有効となる。

【0117】また、本プレーヤが新たなAVフォーマットをサポートする場合は、他のデコーダと同様にトラックバッファ1703に接続する、新たなAVフォーマットに対応したデコーダ1709をさらに備えればよい。

【0118】(DVDレコーダの録画) 次に、図19を用いて上記光ディスクに対してデータの記録、再生を行なう本発明に係るDVDレコーダの構成および動作について説明する。

【0119】図に示すように、DVDレコーダは、ユーザへの表示およびユーザからの要求を受け付けるユーザインターフェース部1901、DVDレコーダ全体の管理および制御を司るシステム制御部1902、VHFおよびUHFを受信するアナログチューナ1903、アナログ信号をデジタル信号に変換しMPEGプログラムストリームにエンコードするエンコーダ1904、デジタル衛星放送を受信するデジタルチューナ1905、デジタル衛星で送られるMPEGトランスポートストリームを解析する解析部1906、テレビおよびス

ピーカなどの表示部1907、AVストリームをデコードするデコーダ1908とを備える。デコーダ1908は、図18に示した第1及び第2のデコーダ等からなる。さらに、DVDレコーダは、デジタルインターフェース部1909と、書きこみデータを一時的に格納するトラックバッファ1910と、DVD-RAM100にデータを書きこむドライブ1911とを備える。デジタルインターフェース部1909はIEEE1394等の通信プロトコルにより外部機器にデータを出力するインタフェースである。

【0120】このように構成されるDVDレコーダにおいては、ユーザインターフェース部1901が最初にユーザからの要求を受ける。ユーザインターフェース部1901はユーザからの要求をシステム制御部1902に伝え、システム制御部1902はユーザからの要求を解釈および各モジュールへ処理要求を行う。

【0121】ユーザからの要求がアナログ放送の録画であった場合、システム制御部1902はアナログチューナ1903への受信とエンコーダ部1904へのエンコードを要求する。

【0122】エンコーダ部1904はアナログチューナ1903から送られるAVデータをビデオエンコード、オーディオエンコードおよびシステムエンコードしてトラックバッファ1910に送出する。

【0123】エンコーダ部1904は、エンコード開始直後に、エンコードしているMPEGプログラムストリームの再生開始時刻(M_VOB_V_S_PTM)をシステム制御部1902に送り、続いてTマップを作成するための情報として動画オブジェクトユニット(VOBU)の時間長およびサイズ情報をエンコード処理と平行してシステム制御部1902に送る。

【0124】次にシステム制御部1902は、ドライブ1911に対して記録要求を出し、ドライブ1911はトラックバッファ1910に蓄積されているデータを取り出しDVD-RAMディスク100に記録する。この時、システム制御部1902はファイルシステムのアロケーション情報からディスク100上のどこに記録するかを合わせてドライブ1911に指示する。

【0125】録画終了はユーザからのストップ要求によって指示される。ユーザからの録画停止要求は、ユーザインターフェース部1901を通してシステム制御部1902に伝えられ、システム制御部1902はアナログチューナ1903とエンコーダ部1904に対して停止要求を出す。

【0126】エンコーダ1904はシステム制御部1902からのエンコード停止要求を受けエンコード処理を止め、最後にエンコードを行ったMPEGプログラムストリームの再生終了時刻(M_VOB_V_E_PTM)をシステム制御部1902に送る。

【0127】システム制御部1902は、エンコード処

理終了後、エンコーダ1904から受け取った情報に基づき動画オブジェクト情報(M_VOB_I)を生成する。次に、この動画オブジェクト情報(M_VOB_I)に対応するセル情報を生成するが、この時重要なのは、セル情報内のタイプ情報を「M_VOB」にすることである。前述した通り、セル情報内の情報は、動画オブジェクト(M_VOB)には依存しない形で構成されており、動画オブジェクト(M_VOB)に依存する情報は全て動画オブジェクト情報(M_VOB_I)の中に隠蔽された形になっている。したがって、セル情報のタイプ情報の認識を誤ると、正常な再生ができなくなり、場合によってはシステムダウンが起こる場合もある。

【0128】最後にシステム制御部1902は、ドライブ1911に対してトラックバッファ1910に蓄積されているデータの記録終了と、動画オブジェクト情報(M_VOB_I)およびセル情報の記録を要求し、ドライブ1911がトラックバッファ1910の残りデータと、動画オブジェクト情報(M_VOB_I)と、セル情報とをDVD-RAMディスク100に記録し、録画処理を終了する。

【0129】次に、ユーザからの要求がデジタル放送の録画であった場合の動作について説明する。

【0130】ユーザによるデジタル放送録画要求は、ユーザインターフェース部1901を通してシステム制御部1902に伝えられる。システム制御部1902はデジタルチューナ1905への受信と解析部1906へのデータ解析を要求する。

【0131】デジタルチューナ1905から送られるMPEGトランスポートストリームは解析部1906を通してトラックバッファ1910へ転送される。解析部1906は、最初にMPEGトランスポートストリームからデジタル放送オブジェクト情報(D_VOB_I)の生成に必要な情報として、開始時刻情報(D_VOB_V_S_PTM)を抽出してシステム制御部1902に送る。次に、MPEGトランスポートストリーム中のオブジェクトユニット(VOBU)を決定し、Tマップ生成に必要なオブジェクトユニットの時間長とサイズとをシステム制御部1902に送る。なお、オブジェクトユニット(VOBU)の決定は、前述したようにTSパケットヘッダ中の適用フィールド(adaptation field)内のランダムアクセスインジケータ(random_access_indicator)をもとに検出することにより可能である。

【0132】次にシステム制御部1902は、ドライブ1911に対して記録要求を出力し、ドライブ1911はトラックバッファ1910に蓄積されているデータを取り出しDVD-RAMディスク100に記録する。この時、システム制御部1902はファイルシステムのアロケーション情報からディスク上のどこに記録するかを合わせてドライブ1911に指示する。

【0133】録画終了はユーザからのストップ要求によって指示される。ユーザからの録画停止要求は、ユーザインターフェース部1901を通してシステム制御部1902に伝えられ、システム制御部1902はデジタルチューナ1905と解析部1906に停止要求を出す。

【0134】解析部1906はシステム制御部1902からの解析停止要求を受け解析処理を止め、最後に解析を行ったMPEGトランスポートストリームの動画オブジェクトユニット(VOBU)の最後の表示終了時刻(D_VOB_V_E_PTM)をシステム制御部1902に送る。

【0135】システム制御部1902は、デジタル放送の受信処理終了後、解析部1906から受け取った情報に基づき、デジタル放送オブジェクト情報(D_VOB_I)を生成する。次に、このデジタル放送オブジェクト情報(D_VOB_I)に対応するセル情報を生成するが、この時、セル情報内のタイプ情報として「D_VOB」を設定する。

【0136】最後にシステム制御部1902は、ドライブ1911に対してトラックバッファ1910に蓄積されているデータの記録終了と、デジタル放送オブジェクト情報およびセル情報の記録を要求する。ドライブ1911は、トラックバッファ1910の残りデータと、デジタル放送オブジェクト情報(D_VOB_I)、セル情報をDVD-RAMディスク100に記録し、録画処理を終了する。

【0137】以上、ユーザからの録画開始および終了要求をもとに動作を説明したが、例えば、VTRで使用されているタイマー録画の場合では、ユーザの代わりにシステム制御部が自動的に録画開始および終了要求を発行するだけであって、本質的にDVDレコーダの動作が異なるものではない。

【0138】(DVDレコーダの再生)次にDVDレコーダにおける再生動作について説明する。まず、ユーザインターフェース部1901がユーザからの要求を受ける。ユーザインターフェース部1901はユーザからの要求をシステム制御部1902に伝え、システム制御部1902はユーザからの要求の解釈および各モジュールへの処理要求を行う。ユーザからの要求がPGCの再生であった場合、システム制御部1902はPGC情報およびセル情報を解析してどのオブジェクトの再生かを解析する。なお、以下では、1つの動画オブジェクト(M_VOB)と、1つのセル情報とから構成されるオリジナルPGCの場合を説明する。

【0139】システム制御部1902は最初にPGC情報内のセル情報内のタイプ情報を解析する。タイプ情報が「M_VOB」であった場合、再生するAVストリームがMPEGプログラムストリームとして記録されたAVストリームであることがわかる。次にシステム制御部

1902は、セル情報のIDから対応する動画オブジェクト情報(M_VOB_I)を、テーブル(M_AVFIT)から探し出す。次に、セル情報の開始および終了位置情報と、動画オブジェクト情報の開始時刻情報(M_VOB_V_S_PTM)及び終了時刻情報(M_VOB_V_E_PTM)と、Tマップとから、再生するAVデータの開始および終了アドレスを求める。

【0140】次に、システム制御部1902はドライブ1911に対して、DVD-RAMディスク100からの読み出し要求を、読み出しアドレスと共に送る。ドライブ1911は、システム制御部1902に指示されたアドレスからAVデータを読み出し、トラックバッファ1910に格納する。

【0141】次に、システム制御部1902は、デコーダ1908に対して、MPEGプログラムストリームのデコード要求を行う。デコーダ1908はトラックバッファ1910に格納されているAVデータを読み出し、デコード処理を行う。デコードされたAVデータは表示装置1907を通して出力される。

【0142】ドライブ1911はシステム制御部1902から指示された全データの読み出し終了後、システム制御部1902に読み出し終了を報告し、システム制御部1902は、デコーダ1908に対して再生終了要求を出す。デコーダ1908はトラックバッファ1910が空になるまでデータの再生を行い、トラックバッファ1910が空になり、全てのデータのデコードおよび再生が終了した後、システム制御部1902に再生終了を報告を行い、再生処理が終了する。

【0143】以上、1つの動画オブジェクト(M_VOB)、1つのセル情報から構成されるオリジナルPGCを例に説明を行ったが、オリジナルPGCが、1つのデジタル放送オブジェクト(D_VOB)のみを含む場合、複数の動画オブジェクトを含む場合、複数のデジタル放送オブジェクトを含む場合、もしくは、動画オブジェクトとデジタル放送オブジェクトとが混在する場合でも、同様の処理を行うことでAVストリームの再生が可能である。また、オリジナルPGCが複数セルを含む場合や、ユーザ定義PGCの場合も同様である。

【0144】また、オーディオ・オブジェクト(AOB)や、静止画オブジェクト(S_VOBS)などのAVストリームもデコーダ1908内の構成が異なるだけであり、他のモジュールや、動作処理は基本的に同じである。この場合、デコーダ1908は、例えば、図18で示したPSデコーダ1705、TSデコーダ1706、オーディオデコーダ1707、静止画デコーダ1708で構成できる。

【0145】次に、デコーダ1908が全てのAVストリームの再生機能を持たない場合の例について説明する。

【0146】例えば、デコーダ1908がMPEGトラ

ンスポートストリームの再生機能を有していない場合、前述したようにデコーダ１９０８を通しての再生が不可能であるので、この場合、デジタルインターフェース部１９０９を介して外部機器にデータを供給し、外部機器にてデータの再生を行う。

【０１４７】システム制御部１９０２は、ユーザから再生要求されたＰＧＣ情報内のセル情報が、システムがサポートしていないデジタル放送オブジェクト（Ｄ＿ＶＯＢ）であることを検出した場合、デコーダ１９０８に対する再生要求の代わりに、デジタルインターフェース部１９０９に対してデータの外部出力要求を行う。デジタルインターフェース部１９０９はトラックバッファ１９１０に蓄積されているＡＶデータを接続しているデジタルインターフェースの通信プロトコルに従いデータの転送を行う。なお、上述した処理以外は動画オブジェクト（Ｍ＿ＶＯＢ）の再生時と同様である。

【０１４８】また、デコーダ１９０８が再生対象のＡＶストリームに対応しているか否かは、システム制御部１９０２が自身で判断しても良いし、システム制御部１９０２からデコーダ１９０８に問い合わせるようにしても良い。

【０１４９】（ＤＶＤプレーヤ）次に、図２０を用いて上記光ディスクを再生する本発明にかかるＤＶＤプレーヤの構成について説明する。本ＤＶＤプレーヤは前述のプレーヤモデルを実現するものである。

【０１５０】図に示すように、ＤＶＤプレーヤは、ユーザへの表示およびユーザからの要求を受け付けるユーザインターフェース部２００１、ＤＶＤプレーヤの構成要素全体の管理および制御を司るシステム制御部２００２、テレビおよびスピーカ等からなる表示部２００３、ＭＰＥＧストリームをデコードするデコーダ２００４、ＩＥＥＥ１３９４などに接続するデジタルインターフェース部２００５、ＤＶＤ－ＲＡＭ１００から読み出したデータを一時的に蓄積するトラックバッファ２００６、ＤＶＤ－ＲＡＭ１００からデータを読み出すドライブ２００７を備える。このように構成されるＤＶＤプレーヤは、前述したＤＶＤレコーダと同様の再生動作を行なう。

【０１５１】なお、本実施形態では、ＤＶＤ－ＲＡＭを例に説明をしたが、他のメディアにおいても同様のことが言え、本発明はＤＶＤ－ＲＡＭや光ディスクにのみ制限されるものではない。

【０１５２】また、本実施形態では、デコーダがサポートしていないＡＶストリームの場合にデジタルインターフェースを介して再生を行うとしたが、デコーダがサポートしているＡＶストリームであっても、ユーザの要求によってデジタルインターフェースを介して外部機器に出力するようにしても良い。

【０１５３】また、本実施形態では、オーディオデータおよび静止画データをＭＰＥＧストリームでない独自の

データであるとして説明したが、これらのデータがＭＰＥＧシステムストリームの構成で記録されても良い。

【０１５４】

【発明の効果】本発明によれば、様々なＡＶフォーマットを同時に記録できるだけでなく統合的に管理することが可能となり、種々の種類のオブジェクトすなわち多様なフォーマットで記録されるオブジェクトを１つの記録媒体上で管理することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図１】 ＤＶＤレコーダのドライブ装置のブロック図

【図２】 ディスク上のアドレス空間及びトラックバッファ内データ蓄積量を示す図

【図３】 ファイルシステムとファイル構造を示す図

【図４】 従来のＡＶ機器とメディアの関係を示す図

【図５】 ＭＰＥＧプログラムストリームとトランスポートストリームを示す図

【図６】 ＰＣ上でＡＶデータを扱った場合を示す図。

【図７】 ＤＶＤレコーダが目指すＡＶ機器とメディアの関係を示す図。

【図８】 ＤＶＤレコーダのメニューを説明する図。

【図９】 ＡＶファイルとディレクトリとの関係（ａ）と、ディスク上のアドレス空間（ｂ）とを示す図。

【図１０】 オブジェクト、オブジェクト情報及びＰＧＣ情報の関係を説明した図。

【図１１】 オブジェクト情報から派生した各ストリーム管理情報を示す図。

【図１２】 動画オブジェクト（Ｍ＿ＶＯＢ）と、動画オブジェクト情報（Ｍ＿ＶＯＢＩ）及びＰＧＣ情報の関係を示す図。

【図１３】 本発明に係るタイムマップを説明する図。

【図１４】 ＭＰＥＧトランスポートストリームを示した図。

【図１５】 オーディオオブジェクト（ＡＯＢ）と、オーディオオブジェクト情報（ＡＯＢＩ）との関係を示す図。

【図１６】 静止画オブジェクト（Ｓ＿ＶＯＢＳ）と、静止画オブジェクト情報（Ｓ＿ＶＯＢＳＩ）と、ＰＧＣ情報との関係を示す図。

【図１７】 ＤＶＤ－ＲＡＭにおける管理情報を説明した図。

【図１８】 本発明に係るプレーヤモデルのブロック図。

【図１９】 ＤＶＤレコーダのブロック図。

【図２０】 本発明に係るＤＶＤプレーヤのブロック図。

【符号の説明】

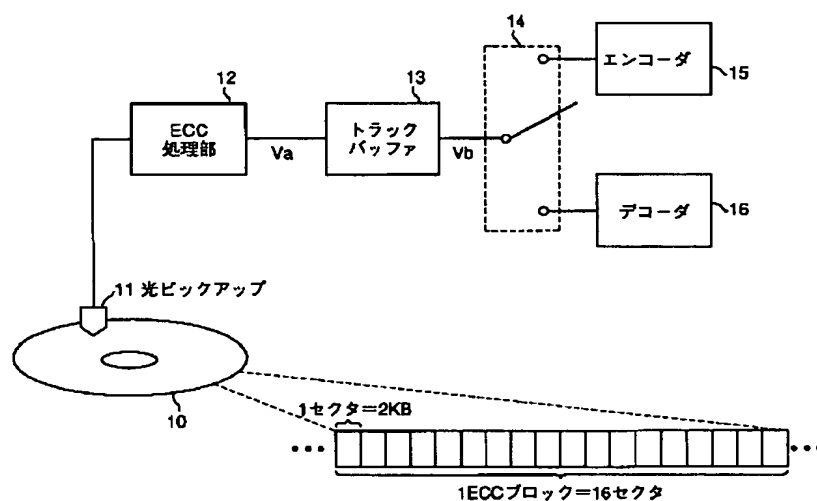
５０、７０ ＰＧＣ情報（PGCI: Program Chain Information）

６０ セル情報（Cell: Cell Information）

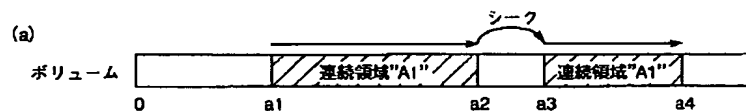
８０ オブジェクト情報（OBJECT I: Object Information）

- n)
- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 80c アクセスマップ | 1707 オーディオデコーダ |
| 100 DVD-RAM | 1708 静止画デコーダ |
| 1701 光ピックアップ | 1710 選択部 |
| 1704, 1909, 2005 デジタルインターフェース部 | 1711 制御部 |
| 1705 PSデコーダ | 1902, 2002 システム制御部 |
| 1706 TSデコーダ | 1908, 2004 デコーダ |
| | 1906 解析部 |
| | 1911, 2007 ドライブ |

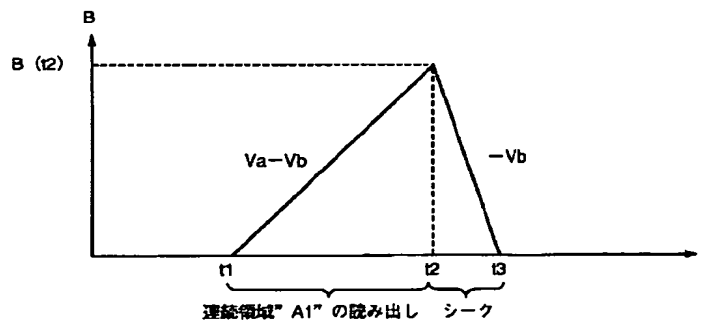
【図1】



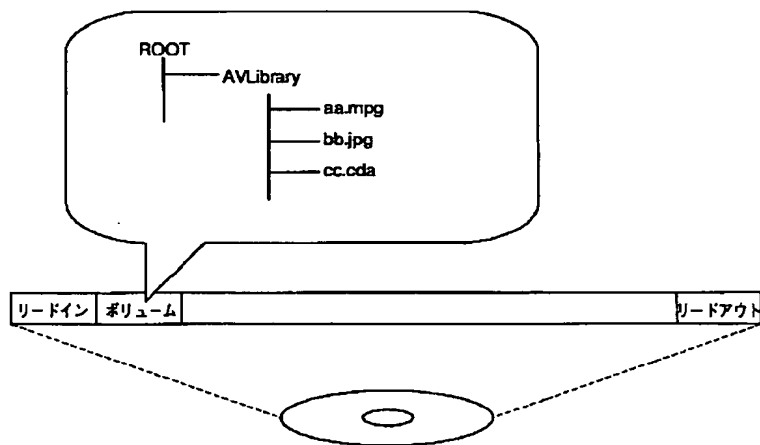
【図2】



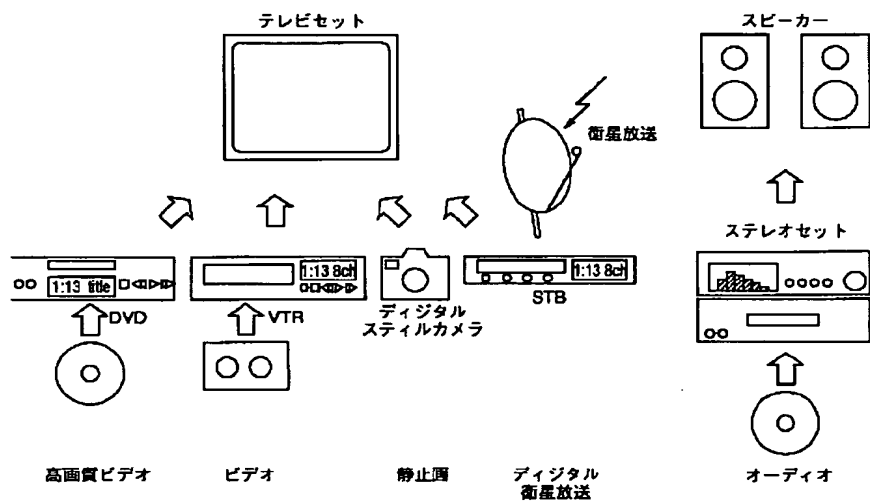
(b) トラックバッファ内データ蓄積量



【図 3】



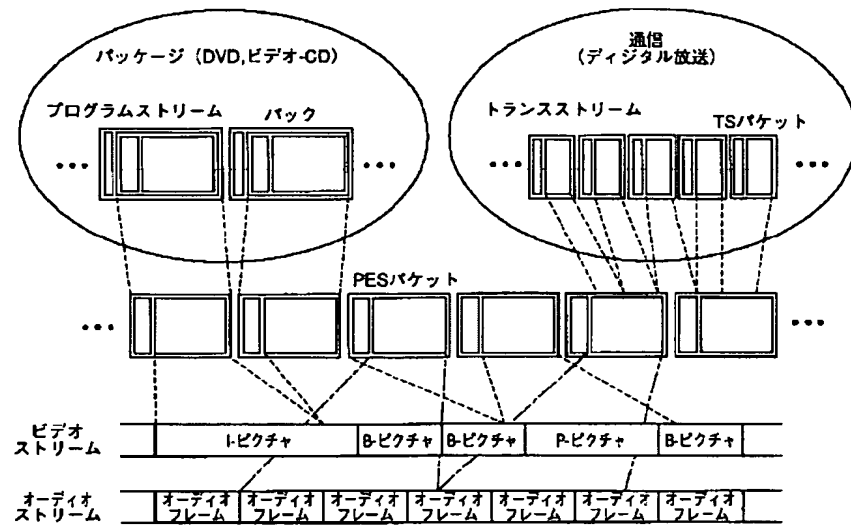
【図 4】



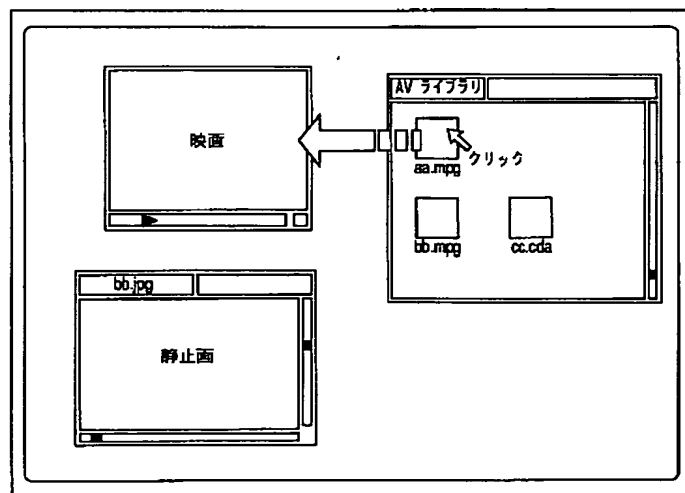
【図 8】

番組名	録画日時
1) 洋画劇場	98.9.20 pm9 : 00-
2) 朝の連続ドラマ	98.9.22 am8 : 30-
3) ワールドカップ決勝	98.6.10 am2 : 00-
4) ベートーヴェン	96.4.1

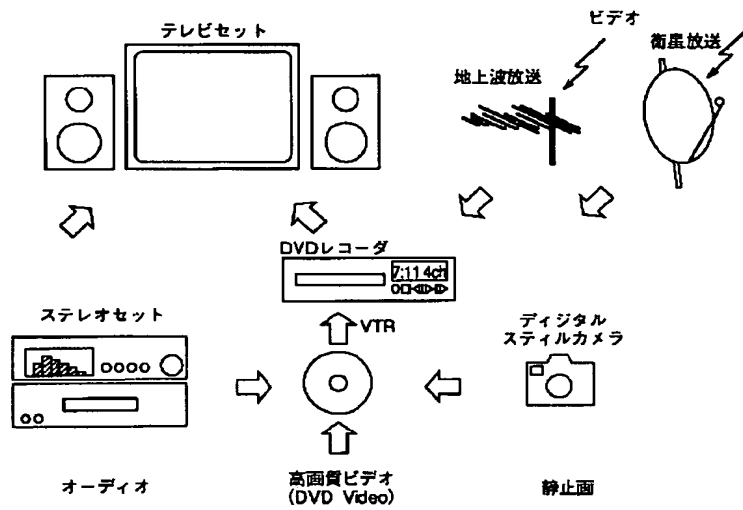
【図5】



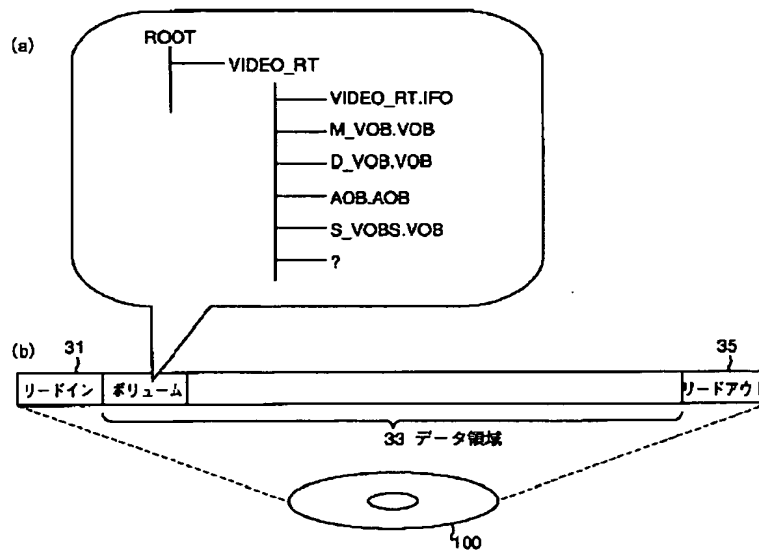
【図6】



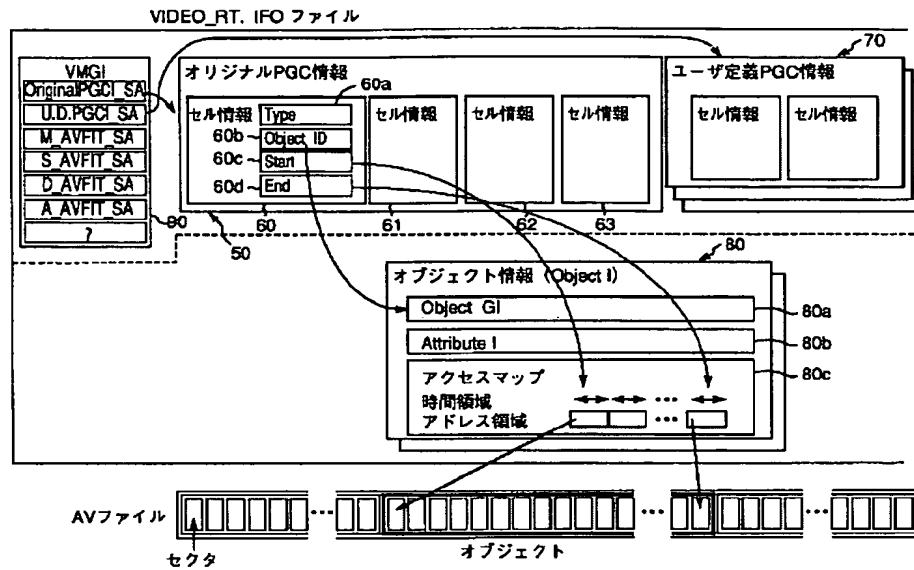
【図 7】



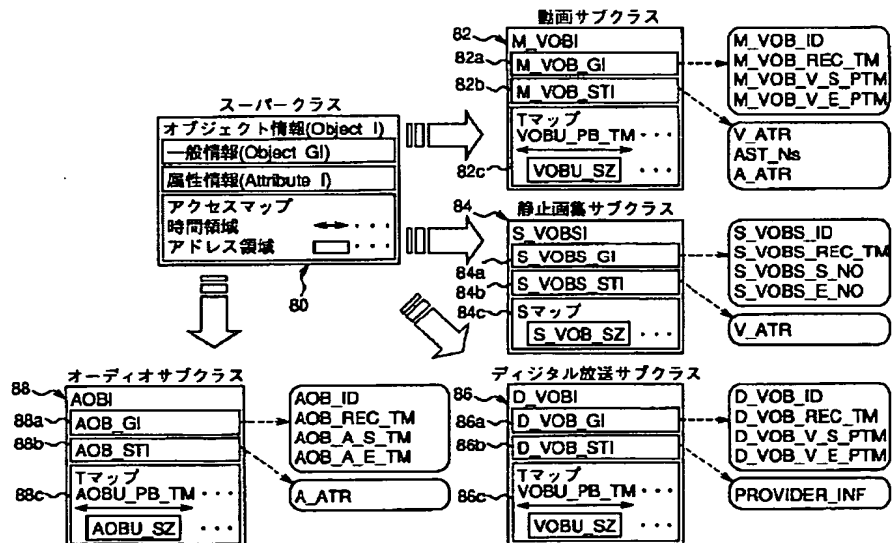
【図 9】



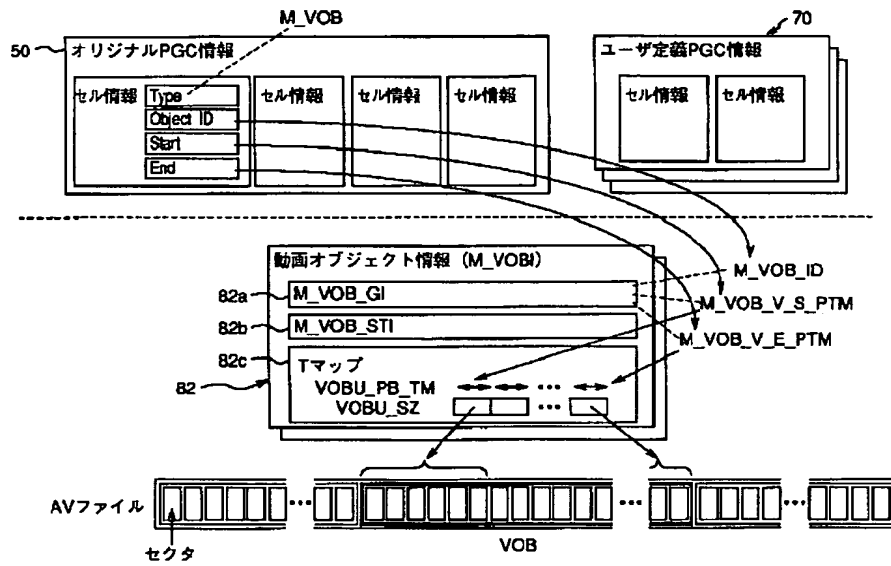
【図 10】



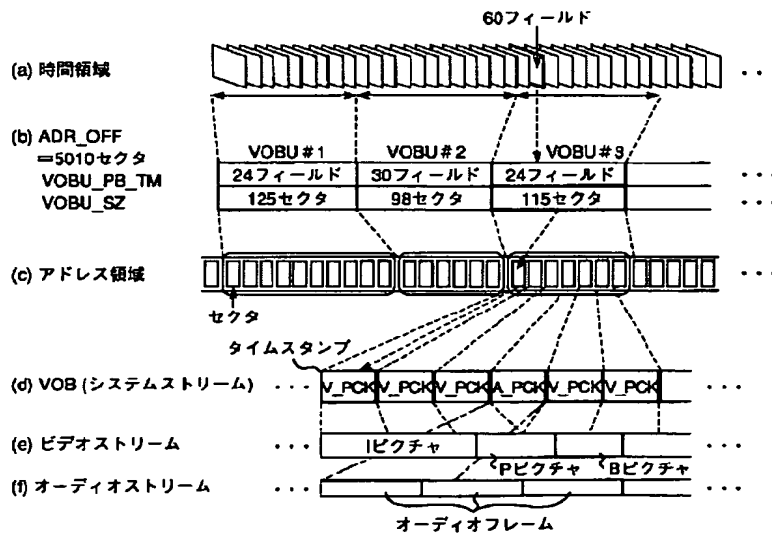
【図 11】



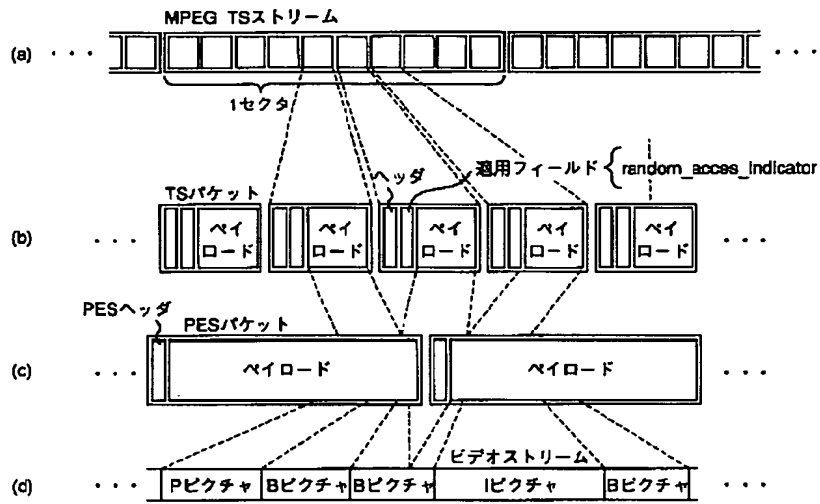
【図12】



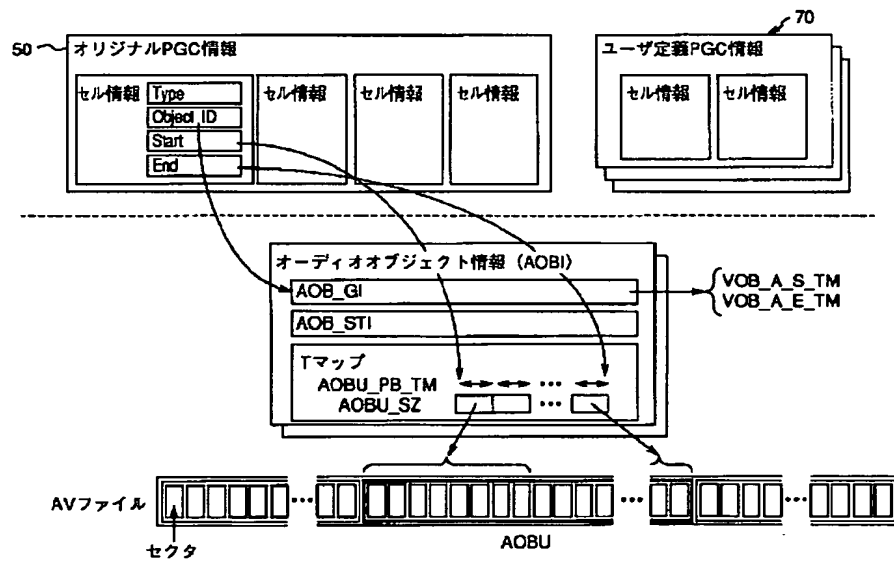
【図13】



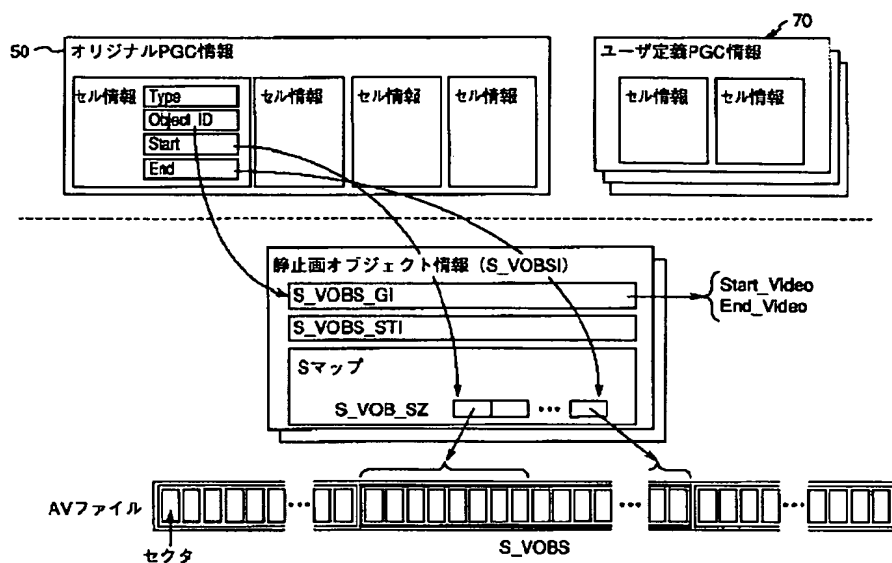
【図14】



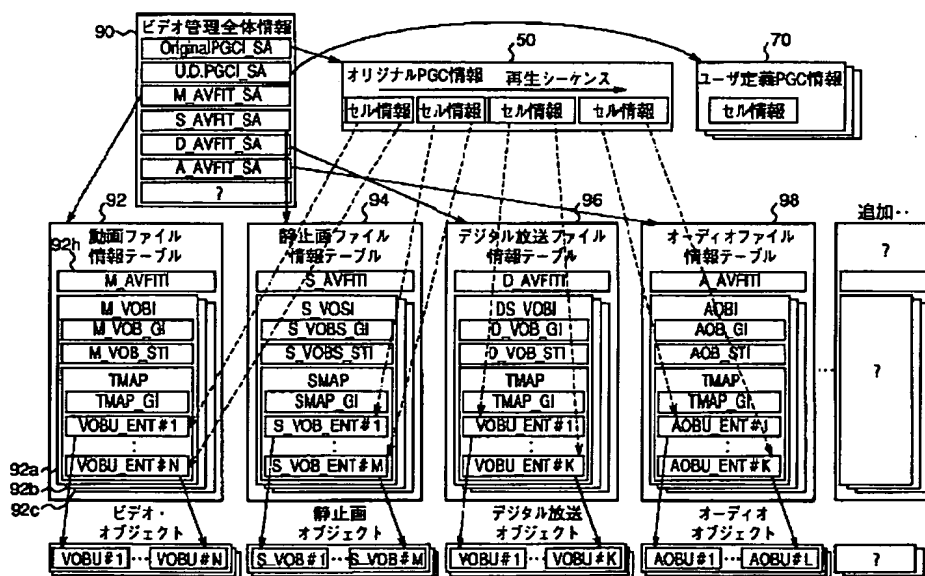
【図15】



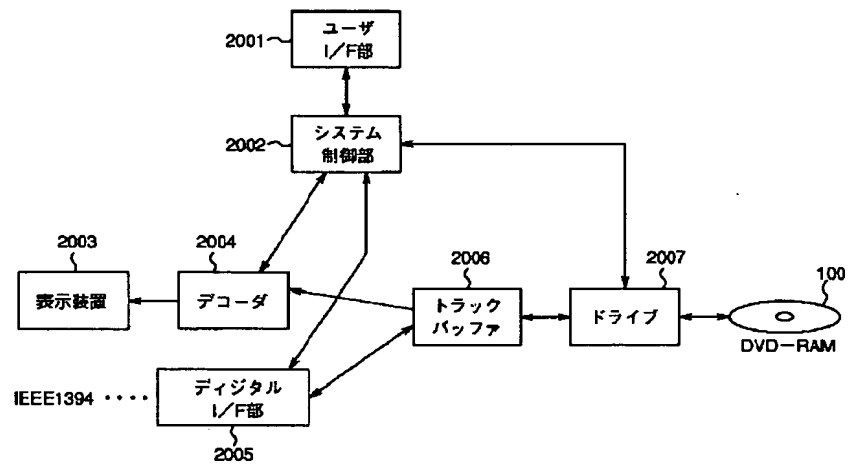
【図 16】



【図 17】



【図20】



フロントページの続き

(72)発明者 津賀 一宏
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

Fターム(参考) 5C052 AA02 AB03 AB04 AB05 CC06
CC11 DD04
5C053 FA25 GB06 GB21 GB37 JA21
LA06 LA11
5D044 AB05 AB07 BC04 BC06 CC06
DE12 DE38 DE49 EF05 FG18
GK12
5D110 AA17 AA27 AA29 BB01 DA04
DA17 DB05 DC05 DC16 EA07